

全国

ぜんこく
しぎかいじゅんぼう

平成28年
(2016年) 4月5日

第1972号

毎月3回5の日に発行
(購読料は会費に含む)

定価 1部20円

発行 全国市議会議長会

〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-2
代表 TEL 03(3262)5234
旬報 TEL 03(3262)2309
発行人 井原 好英

http://www.si-gichokai.jp

市議会旬報

27年度各委員会要望結果の概要

本会の①地方行政②地方財政③社会文化④産業経済⑤建設運輸の各委員会は、27年7・8月、11月にそれぞれ委員会を開催。要望書を決定し、要望事項の実現に向け、政府・与党の要職者をはじめ、地元選出国会議員などに対し要望活動を行ってきた(本紙1

地方行政委員会

地方行政委員会の27年度の要望は①地方分権改革の推進②地方創生の推進③地方議会の権能強化等④消防防災体制の充実強化⑤過疎地域の自立促進⑥合併市町村に対する支援の拡充⑦国政選挙に係る執行経費の確保⑧社会保障・税番号制度導入に係る財政措置の拡充及び制度周知等⑨基地対策関係予算の確保等⑩治安対策の強化等⑪北方領土返還⑫竹島の領有権確立⑬日米地位協定の抜本的な改定⑭人権救済制度の確立について14項目を大きな柱とした(詳細は本会ホームページ参照)。

947〜1950号、1960・1961号参照。なお、各委員会の要望書は本会ホームページに掲載している。本紙では、その5委員会の要望結果の概要を掲載する。今号では、地方行政委員会、地方財政委員会について掲載する。

以下、主な要望結果の概要を掲載する。

1 地方分権改革の推進

義務付け・枠付けの見直し及び都道府県から基礎自治体への権限移譲等では、さらなる見直し・権限移譲、提案募集方式における提案事項の実現などを要望した。

27年12月22日に「平成27年の地方からの提案等に関する対応方針」が閣議決定され、提案228件中、166件(72・8%)が実現・対応とされた(本紙1963・4号参照)。

また、この対応方針を踏まえた第6次地方分権一括法案が28年3月11日に閣議決定され、国会に提出されている(本紙

1971号2面参照)。

2 地方創生の推進

①まち・ひと・しごと創生事業費の安定的確保②包括的な交付金の創設③地方への分散を促進する誘導的な施策の推進④地方分権改革の一層の促進等1の4つを要望した。

①・②は、地方財政委員会を参照(3・4面)③地方創生の推進(参照)。④は、1、3を参照。

③について、企業、人、物を東京一極集中から地方へ分散するよう求めていた。26年12月に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、「『東京一極集中』の是正」を基本的な考え方に加え、基本目標の1つに「地方への新しいひとの流れをつくる」を挙げていた。

同総合戦略は27年12月24日に変更されている。▽政府関係機関の地方移転▽「生涯活躍のまち(日本版CCR)」構想の推進▽「地域おこし協力隊」の拡充▽若者人材等の還流及び育成・定着支援▽人材還流政策間の

連携強化▽地方移住希望者への支援体制▽地方居住の本格推進など政策パッケージ、アクションプラン(個別施策工程表)に改訂・追加などがなされている。

このうち、政府関係機関の地方移転については、有識者会議などの議論を経て、28年3月22日の第9回まち・ひと・しごと創生本部会合で「政府関係機関移転基本方針」が決定された。23機関50件が対象とされ、このうち文化庁の京都府への全面的な移転(数年内)、消費者庁(徳島県へ)・総務省統計局(和歌山県へ)の移転に向けた検証(8月末までに結論)などが決定されている。

「生涯活躍のまち(日本版CCR)」構想の推進については、有識者会議において議論され、27年12月11日に



第100回評議員会で挨拶する石破大臣

「生涯活躍のまち」構想(最終報告)」が取りまとめられ、28年3月11日には内閣官房に關係府省が連携した「生涯活躍のまち形成支援チーム」が設置された。総合戦略に基づき、構想の実現に向け、地方公共団体の取り組みを円滑に進め、既存制度上の課題や、連携した支援策の在り方などが検討される。また、取り組みの普及・横展開が図られる。なお、第100回評議員会(2月9日開催)に来賓として出席した石破茂・地方創生担当大臣が挨拶で地方創生について述べている(写真、本紙1968号2・3面参照)。

3 地方議会の権能強化等

更なる地方議会の権能強化などについて要望した。要望事項のうち①地方議会議員の法的位置付けの明確化②議長への議会招集権の付与③契約の締結、財産の取得・処分について、各自自治体が条例により規定可能とすること④予算修正権の制約の見直し⑤決算不認定の場合の長の対応措置について、第31次地方制度調査

【2面へ続く】

地方財政委員会

地方財政委員会の平成27年度の要望は①平成28年度税制改正等②平成28年度地方財政対策③地方創生の推進④平成28年度地方債計画⑤地方公営企業⑥国庫補助負担金について6項目を大きな柱とした(詳細は本会ホームページ参照)。

以下、主要要望結果の概要を掲載する。

1 平成28年度税制改正等

重点要望事項として、①法人実効税率の見直しに当たり、必要な地方税財源の確保を併せて検討し、地方財政に影響を与えないこと②償却資産に係る固定資産税について、現行制度の堅持③消費税10%への引き上げ時における車体課税の見直しについて、自動車取得税廃止の際の自動車税・軽自動車税における環境性能割の制度設計などによる代替財源の確保④ゴルフ場利用税について、現行制度の堅持⑤地球温暖化対策について、地球温暖化対策と税の創設など地方税財源を確保する仕組みの構築などを要望した。

①について、28年度は法人

事業税の所得割の税率を引き下げられる一方、外形標準課税の拡大などが行われる。結果として、国・地方の法人実効税率は現行の32・11%から29・97%に引き下げられる。

②については、現行制度が維持された。しかし、30年度末までの期限措置ではあるが、一定の機械と装置の取得に係る課税標準を2分の1とする特例措置(減収見込額は平成18年度183億円)が講じられる。

③については、29年4月1日の消費税率10%への引き上げ時の自動車取得税廃止に伴い、自動車税、軽自動車税それぞれに環境性能割を創設するとされた。自動車取得税の廃止による減収見込額は平成18年度891億円(自動車税744億円、軽自動車税147億円)となる。

④については、現行制度が堅持された。

⑤については、与党税制改正大綱において、市町村による継続的、安定的な森林整備などに充てる税制(森林環境税)などの新たな仕組みを検討するとされ、その時期につ

いては適切に判断するとされ

2 平成28年度地方財政対策

重点要望事項として、①地方税・地方交付税などの一般財源総額の充実確保②必要な歳出の別枠での地方財政計画への計上など、地域の実情を踏まえた引き続きの措置などを要望してきた。

①については、一般財源総額は前年度比1307億円増(0・2%増)の61兆6792億円が確保された。このうち、地方税は38兆7022億円と、27年度より1兆2103億円(3・2%増)の増収を見込む中、地方交付税は前年度より546億円減(0・3%減)の16兆7003億円が確保された(下に一般財源総額の推移のグラフ)。

②については、歳出特別枠地域経済基盤強化・雇用等対策費)は4450億円が確保された。前年度比4000億円減となったが、地方の重点課題に対応するための歳出や公共施設の老朽化対策に係る歳出が重点的に確保(4000億円)されるため、実質的に27年度の水準となる。交付税の別枠加算は、地方税収の動

向などを踏まえ、平時モードへの切り替えの観点から廃止となった。

また、地方財源の充実確保として、①自治体の課題解決に向けた財源の充実②緊急防災・減災事業と公共施設などの老朽化対策の所要額の確保などを要望した。

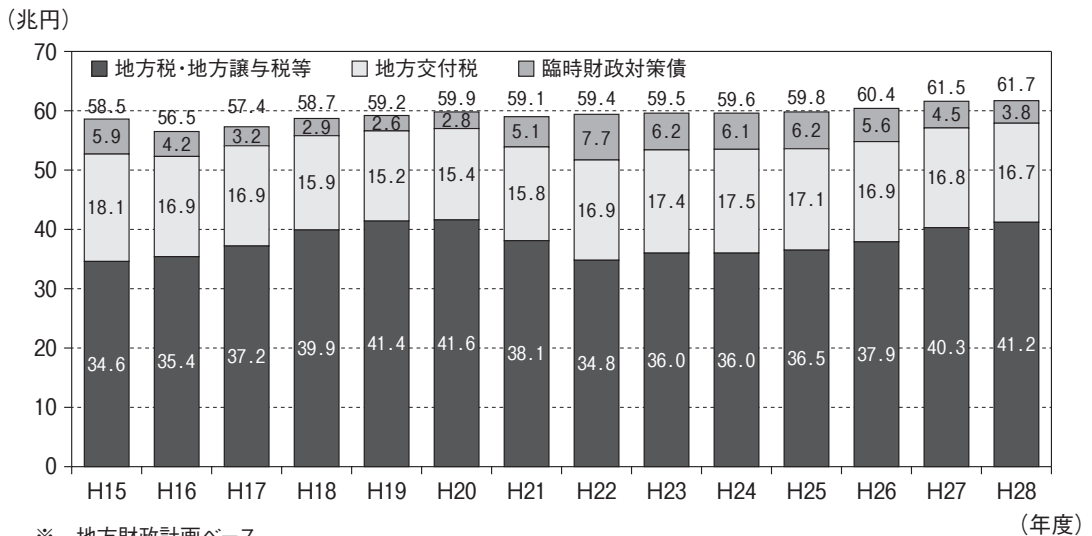
①については、地方の重点課題である高齢者支援や自治体情報システム改革などに取組むために必要な経費として、重点課題対応分が創設され、2500億円が確保された。内訳は▽自治体情報システム構造改革推進事業1500億円、▽高齢者の生活支援等の地域のくらしを支える仕組みづくりの推進500億円▽森林吸収源対策等の推進500億円。

②については、緊急防災・減災事業費は前年度同額の5000億円が確保された。ほかに、公共施設等最適化事業費が前年度から倍増の2000億円、維持補修費は前年度比597億円増(5・1%増)の1兆2198億円が確保された。

3 地方創生の推進

①まち・ひと・しごと創生

グラフ 地方一般財源総額の推移 (平成15年~28年)



※ 地方財政計画ベース
※ 三位一体改革において、平成18年度に、国税から地方税へ約3兆円の税源移譲が行われた

事業費の安定的確保②包括的な交付金の創設③地方への分散を促進する誘導的な施策の推進④地方分権改革の一層の促進等一の4つを要望してきた。

【3面から続く】

③・④は、地方行政委員会を参照(③は1面)2 地方創生の推進、④は1面「1 地方分権改革の推進」・1 2面「3 地方議会の権能強化等」参照。

①について。地方財政計画におけるまち・ひと・しごと創生事業費の将来にわたる1兆円を上回る額の安定的な確保を要望した。同事業費は、28年度の地財計画において、前年度同額の1兆円が確保されている。

28年度予算が成立

平成28年度予算が3月29日に参議院本会議で可決、成立した。

一般会計の総額は過去最大の96兆7218億円(前年度当初予算比0.4%増)。歳入において、税収は57兆6040億円(同5.6%増)とした。

②について。▽地方創生の取り組みを深化させるための新型交付金について、縦割りの個別補助ではない包括的なものとし、地方が先行して取り組み施策も対象とするなど、その内容や規模について、地方の意見などを十分に踏まえたさらなる検討▽新型交付金に係る地方負担分について、まち・ひと・しごと創生事業費とは別に、地財措置を確実に講じることーを要望した。地方創生の深化のための新型交付金(地方創生推進交付

金)として、28年度予算では1000億円(事業費2000億円)が確保された。▽自治体の自主的・主体的な取り組みで先駆的なもの▽PKPIの設定、PDCASAサイクルの組み込みなどが支援される。なお、27年度補正予算では地方創生加速化交付金として1000億円が確保され、28年3月には交付対象事業が決定されたところ。交付対象事業数1926件(うち市区町村1635件)、交付予定額は906億円(うち市区町村

610億円)となっている。残りの94億円については第2次分として交付される。▽ソフト事業は普通交付税、特別交付税が措置される。ハード事業は地方債の対象とされ、充当率90%、交付税措置率30%が予定されている。4 平成28年度地方債計画 地方債資金の確保では、一般単独事業債の所要額確保を要望してきた。28年度地方債計画(通常収支分)の総額は11兆2082億円と前年度比7160億円

減(6.0%減)となる中で、一般単独事業債は2兆1474億円が計上され、前年度比931億円増(4.5%増)となっている。5 地方公営企業 公営企業繰出金等の所要額確保では、公営企業繰出金と公営企業債の所要額確保などを要望してきた。公営企業繰出金(通常収支分)は、2兆5143億円(前年度比1.0%減)、公営企業債も同様に、2兆4270億円(前年度比3.4%減)

が計上されている。

6 国庫補助負担金

国庫補助負担金の廃止等では、国が責任を持って負担すべき分野を除いて廃止し、税源移譲することなどを要望したが、実現には至っていない。

新庁舎落成

▽下野市(栃木県) 〒329-0492 栃木県下野市笹原26 ☎0285-32-8914 FAX 0285-32-8614

議会人事

- ▽議長 佐藤 清(2・15)
- ▽取手 高橋利典(2・15)
- ▽御殿場

- ▽潮来 今泉利拓(2・16)
- ▽津 田中勝博(2・17)
- ▽三豊 城中利文(2・22)
- ▽香取 林 信行(2・23)
- ▽南丹 小中 昭(2・23)

- ▽今治 渡辺文喜(2・23)
- ▽甲州 矢野義典(2・24)
- ▽高島 秋永安次(2・24)
- ▽町田 佐藤伸一郎(2・25)
- ▽本庄 岩崎信裕(2・25)
- ▽京丹後 池田恵一(2・25)
- ▽新座 森田輝雄(2・29)
- ▽白山 村本一則(3・1)
- ▽日野 西野正人(3・1)
- ▽守谷 梅木伸治(3・1)
- ▽小城 平野泰造(3・1)
- ▽神栖 大槻邦夫(3・2)
- ▽つくばみらい

- ▽境港 岡空研二(3・2)
- ▽上野原 鷹取偉一(3・3)
- ▽櫃原 松木雅徳(3・3)
- ▽渋川 中澤広行(3・8)
- ▽四街道 岡田哲明(3・10)
- ▽飯能 砂長恒夫(3・17)
- ▽鯖江 小竹法夫(3・18)
- ▽四万十
- ▽副議長 矢野川信一(3・18)
- ▽取手 染谷和博(2・15)
- ▽御殿場

- ▽三豊 川北善伴(2・22)
- ▽香取 高木 寛(2・23)
- ▽焼津 小野田吉晃(2・23)
- ▽南丹 仲村 学(2・23)
- ▽今治 森 京典(2・23)
- ▽茂原 金坂道人(2・24)
- ▽瑞浪 大島正弘(2・24)
- ▽高島 山川恒雄(2・24)
- ▽本庄 小暮ちえ子(2・25)
- ▽各務原 岡部秀夫(2・25)
- ▽京丹後 中村 雅(2・25)
- ▽町田 殿村健一(2・26)
- ▽下関 戸澤昭夫(2・26)
- ▽大野 宮澤秀樹(2・29)
- ▽新座 石島陽子(2・29)
- ▽白山 石地宜一(3・1)
- ▽日野 窪田知子(3・1)

- ▽守谷 市川和代(3・1)
- ▽小城 深川高志(3・1)
- ▽神栖 後藤潤一郎(3・2)
- ▽つくばみらい
- ▽上野原 染谷礼子(3・2)
- ▽前橋 金井清一(3・2)
- ▽弥富 平野広行(3・2)
- ▽境港 荒井秀行(3・2)
- ▽上野原 長田喜巴夫(3・3)
- ▽櫃原 たけだやすひこ(3・3)
- ▽飛騨 野村勝憲(3・7)
- ▽渋川 篠田徳壽(3・8)
- ▽四街道 成田芳律(3・10)
- ▽飯能 松橋律子(3・17)
- ▽四万十 平野 正(3・18)